

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年10月25日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873600472		
法人名	社会福祉法人 東湖園		
事業所名	高齢者グループホーム 百歳万歳	ユニット名	壺番館
所在地	〒311-1504 茨城県鉾田市安房1665-2		
自己評価作成日	平成24年3月31日	評価結果 市町村受理日	平成24年10月19日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0873600472&amp;SCD=720&amp;PCD=08">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0873600472&amp;SCD=720&amp;PCD=08</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年6月8日	評価確定日	平成24年10月9日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>・同法人が運営する保育園との交流が数多くあり、運動会や誕生会を通じて、園児とふれあう機会がある。</li><li>・プランターに野菜の苗を植え、入所者が作業しやすいよう工夫し、職員と共に野菜づくりや水やりをしている。</li><li>・近隣に協力病院があり、医療支援を受けやすい。</li></ul>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>「医療と福祉が連携すべきである」という代表者の考えのもとで、系列の医療法人が運営する医療機関に隣接して開設された事業所であり、平成24年3月に1ユニットが新設され、2ユニットで運営されている。</p> <p>全ての居室にトイレと洗面台を設けているほか、利用者の役割意識や残存能力を重視するなど、ハードやソフトの両面から利用者本位に支援し、地域密着型サービス事業所のあるべき姿を追求している。</p> <p>職員は代表者や管理者の「利用者が誇りをもって自分らしく生きるためには、居室にトイレを備えるべきである」や「利用者が、残存能力を活かして役割意識を持って暮らせるように支援したい」などの信念のもとに、資格取得などキャリアアップを目指すとともに、向上心をもってチームワークで利用者を支援している。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>理念を玄関、スタッフルームに掲示しカンファレンスや会議等で理念の意識を確認し、より具体的なケアの実践に取り組んでいる。</li> </ul>	<p>全職員が参加する月1回のミーティングで話し合っ「家庭的な環境作りに配慮」や「地域との交流が継続される様な援助」などのキーワードが入った事業所独自の理念を作成している。</p> <p>理念を事業所内に掲示するとともに、職員は月1回のミーティングで唱和して共有している。</p> <p>地域行事への参加を通して馴染みの人間関係の継続に努めるなど、実践につなげている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園、地元のボランティアの訪問を積極的に受け入れている。</li> <li>特別養護老人ホームと合同で主催する納涼祭に地域の方々を招待している。</li> <li>近隣の農家の方が野菜等を届けてくれる。</li> </ul>	<p>同一法人他施設と合同で開催する納涼祭や敬老会に地域住民を招待して交流している。</p> <p>地域の保育園児が利用者の誕生日プレゼントを持って来訪したり、地域のボランティアが来訪して利用者と交流している。</p> <p>地域住民が野菜のお裾分けなどを持って事業所に来訪している。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅介護支援センター主催の介護教室に参加し、介護方法やグループホームについて説明している。</li> </ul>		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>2ヶ月に1回の会議を実施し、又必要に応じて開催する。</li> <li>利用者の状況等について話し合いをし、意見を求めている。</li> </ul>	<p>市担当者や民生委員が出席する運営推進会議を2ヶ月に1回開催しているが、自治会長など地域の代表者が会議に参加するまでには至っていない。</p> <p>会議では外部評価結果を報告するとともに、「利用者や家族等に対するアンケート内容を見直した方が良い」という意見を踏まえ、内容変更について検討している。</p>	<p>運営推進会議への地域住民参加に向けて、自治会長などへ参加を働きかけることが望まれる。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホーム長が地域密着型サービス運営委員会の委員なので、実状を説明できる。</li> <li>困難なケースについては、包括支援センターにも相談できる体制になっている。</li> </ul>	<p>管理者は入居状況について市担当者に伝える中で、市から話があった新たな入居者の受け入れについて話し合っている。</p> <p>管理者は地域密着サービス運営委員会の委員を務めており、会合の際に市担当者や地域包括支援センターの職員に支援困難な利用者について相談している。</p>	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内研修を行っている。</li> </ul>	<p>身体拘束廃止委員会を設置するとともに、年に数回身体拘束廃止マニュアルを用いた質問形式の職員研修や拘束体験研修を実施している。</p> <p>職員は「身体拘束をしていないかどうか」という観点で、日々のケアについて職員同士で振り返っている。</p> <p>玄関センサーや離床センサーを設置し、利用者の見守りをするにより、玄関の施錠も含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> <p>管理者は利用者が退院した際には、利用者や家族等と転倒リスク回避の取組みについて話し合っている。</p>	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内研修を行っている。</li> </ul>		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内研修を行っている。</li> </ul>		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約書に基づき利用者や家族からの不安や疑問に対し、十分に説明し納得を得て行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・ご意見箱を設け、自力で書ける方は書いて頂き、書けない方は口答で申し出て頂いたりアンケートを作成し本人やご家族に記入して頂いている。又、それについて利用者や家族職員間で話し合い、よりよい方法を考えている。	運営推進会議に家族等が参加するとともに、職員は家族等が面会のため来訪した際には利用者や家族等にお茶を出し、リラックスして意見や要望を出せるように努めている。 利用者や家族等への無記名アンケートを実施し、「好きなものを食べたい」という要望を受けて「刺身の日」や「うなぎの日」、「カレーの日」などを設けている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・月に1回、又、随時グループホーム会議を設けて意見を聞いている。	管理者は全職員が参加する月1回のミーティングにおいて職員の意見や提案を聞くように努めており、「脱衣所に手すりを設けた方が良い」や「勤務時間を変更してほしい」などの意見を運営に活かしている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・職員評価表を用いて自己評価をして、その後、管理職が再評価をしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・法人内の年間計画で研修を行うと共に、外部研修へも参加する機会を確保している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・市の会議に参加したり、外部研修参加時に同業者と交流するよう機会を設けている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・利用前に実態調査の為訪問し、本人からの疑問、訴えを聞いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・利用前に実態調査の為訪問し、家族からの疑問、訴えを聞いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人の状況にあった施設か、居宅か、本人家族、施設職員とよく話し合い、見極めをしケースによっては、法人内の在宅介護支援センターに相談することもある。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・職員と食事をしたり、洗濯物を畳んだり、畑での水やり、野菜作りを一緒にしている。又、その中で悩みや訴えを聞いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・行事等には家族に連絡をし、参加して頂いて食事等を共にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・電話をかけたり、手紙を書いたりして関係が継続できるよう支援している。	職員は利用者や家族等との話し合いの機会を捉えて利用者の馴染みの人や場所の把握に努めている。 利用者の知人への再来訪を働きかけるとともに、併設の通所介護事業所を利用している友人と行き来ができるよう支援している。 職員は利用者が馴染みの理・美容室や時計店、スーパーなどに外出する際に付き添っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・本人のできる役割（放送、洗濯たたみ等）をしてもらい、お互い認め合えるような関係を築けるよう援助している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・協力病院に入院されている時には、定期的に訪室し、声かけをしている。同一法人内施設入所時にも随時見回り、声かけをしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が把握できるように本人の歴史等を記録する。</li> <li>・日々の会話の中で、利用者の思いを聞き逃さないようメモを取り、早めに記録しアンダーラインを引くように努めている。</li> </ul>	<p>職員はアセスメントや日々の生活の中で「下肢筋力低下防止のためにも散歩したい」や「カラオケが好きだ」などの希望や意向を把握し、ケース記録にアンダーラインを引くなどの工夫をして全職員で共有している。</p> <p>思いの把握が困難な利用者の中には、表情や行動などから思いや意向を把握している。</p>	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所前の生活について、実態調査の資料を基に趣味や以前の経験を暮らしの中に活かしているようにしている。</li> </ul>		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時モニタリング、カンファレンスをし、状況を把握している。</li> </ul>		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所者、家族の要望を把握して、これによってアセスメントを行ない介護計画をたてている。</li> </ul>	<p>利用者がより良く暮らすための課題について、職員や家族等が参加するカンファレンスで話し合った結果に基づき、計画作成担当者が残存能力を活かせる具体的な目標を定めた介護計画を作成している。</p> <p>6ヶ月毎の評価に基づいて介護計画を見直している。</p> <p>退院時など利用者の状態が変化した場合には、随時介護計画を見直している。</p>	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・介護計画に基づいた記録を見直しながらモニタリングを行い、計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・買い物の要望や事務の代行（振り込み等）を随時行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・ボランティアの方や保育園児たちに来て頂いたり、保育園の行事にも参加している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・入所者、家族の希望が優先であり、協力病院と連携を密にして気軽に相談している。	管理者は居宅介護支援事業所の介護支援専門員からの情報に基づいて利用者のかかりつけ医を把握しており、入居後も引き続き同じかかりつけ医に受診ができるよう通院に付き添うなどの支援をしている。 家族等が受診に付き添う場合にはバイタルサインなどのメモを家族等に手渡すとともに、家族等から聞き取った受診結果を申し送りノートに記録し、全職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・ホーム長が兼務し。夜間緊急時の相談。対応ができる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・隣接地にかかりつけの病院があるため、入院時には、毎日面会に行っている。また、隣接しているので、早期発見による治療も可能である。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・入所前の契約時に話し合いをし意向を聞いている。契約書に記載している。又、協力病院以外の病院入院時には随時、家族と連絡を取り合い状況把握に努め、退院後の生活について話し合うようにしている。	「看取りに関する指針」を作成し、入居時に利用者や家族等に説明して同意を得ている。これまで看取り介護をした例はないが、重度化や終末期に備えて看取りに関する内部研修を実施し、方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・研修会を行っていると共に、緊急対応マニュアルを作成している。緊急時における連絡網の掲示、病院が隣接しており緊急時に対応できる体制となっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・定期的に消火訓練、避難訓練を実施している。又、地元の消防団の方々にも参加して頂いている。 ・非常災害用に3日分位の水と食料品を備蓄している。	消防署立会いや夜間想定を含む同一法人他施設との合同避難訓練を年2回実施するほか、事業所独自の避難訓練を年2回実施し、訓練結果を記録している。 事業所の夜間想定避難訓練での職員体制が実際の夜間体制と異なっており、避難に関する課題を浮き彫りにするまでには至っていない。 近隣に住む地元消防団員が避難訓練に参加するとともに反省会に出席するなど、積極的に災害時の協力体制を築いている。 災害に備えて食料や水、懐中電灯などを備蓄している。	事業所独自の避難訓練においては、消防署立ち会いのもと、より実際に近い状況で避難訓練を実施し、課題を浮き彫りにして対策を講じていくことが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・職員は入所者の生活歴や生活を十分に把握し、優しい言葉かけをしている。又、職員研修を行っており、常に勉強に努めている。	職員は利用者の生活歴を把握し、支援の際には「お手伝いしますか」など、利用者の人格を尊重した支援を心がけている。 他の利用者が寝てから排泄パッドを居室に運ぶなど、プライバシーを損ねない対応をしている。 年2回程度個人情報保護に関する研修を実施している。 個人情報ファイルは、事務室の鍵がかかる棚に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・入所者の希望を大切にし、食べたい物を選んだ食事や、日々の行事等も希望を取り入れている。 ・本人の思いを記録するときには、ケース記録に赤でラインを引く等し、職員間で共有できるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・入所者のペースに合わせた、ゆったりとしたケアの実践と支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・好みの服や化粧品の買い物、美容室も本人の好みの所へ行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・本人の好みの箸や食器の使用をしている。テーブル拭きや片付け等も共に行っている。	利用者や職員は話し合いながら季節の食材を取り入れた献立を作成している。 利用者の希望を取り入れ、毎月「刺身の日」や「うなぎの日」、「カレーの日」などを決め、食事が変化に富んだものになるよう工夫している。 誕生日や季節行事の際には、利用者の希望を取り入れた特別食を提供している。 利用者は職員の支援を得ながら、役割意識を持って生き生きと食事の準備や後片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・入所者ひとりひとりの食事や水分量の状況を把握し、チェック表に記載している。 ・ヤクルトやジョアなどを毎日飲んでいる。 ・便秘気味のかたは、青汁等も飲んで頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・食後は歯磨き、義歯の手入れ、うがいなど自分で行って頂いている。出来ない方は支援している。又、年1回協力歯科医に来園してもらい検診を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・排泄チェック表を使用し、排泄パターンを把握し、自立に向けて支援している。介助が必要な方は定期的に誘導している。	職員は排泄チェックシートにより、利用者一人ひとりの排泄パターンやサインを把握し、声かけや誘導によりトイレでの排泄を支援している。 職員は尿失禁に対する恐れでパッドを使用している利用者に対して、定期的な誘導で安心感を持たせるなどの工夫により、パッドの使用量を減らしている。 手すりが左側にしか設置されていないトイレがあり、右片麻痺の利用者に対して配慮するまでには至っていない。	利用者の様々な状態に対応できるよう、排泄の自立支援に向けたトイレ環境の整備が望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・野菜を多く取り入れた食事を提供している。又、牛乳やヨーグルトなどの提供、1日2回身体を動かす体操を取り入れている。園外への散歩、ホール内での運動も多く取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	・希望に応じて、毎日、又は1日おきに実施し、ゆったりと入浴できるように支援している。シャワーベンチマット、シャンプーも本人の好みの物を個別で使用している。	日中の時間帯における毎日の入浴が基本となっているが、希望すれば夜間の入浴も可能となっている。 利用者の状態に合わせて左右のどちらからでも入浴ができる浴槽としているほか、利用者の好みのシャワーベンチやシャンプーを使用するなど、入浴環境を整えている。 菖蒲湯や柚子湯などを取り入れて入浴が楽しみなものになるよう工夫するとともに、入浴を拒む利用者に対しては、「明日、外出するので入浴しよう」などと話しかけながら無理強いせずに対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・外出や散歩、レクリエーションを通して、夜間眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・個別の薬の飲み方や副作用等の症状の変化や早期発見に努めている。変化がある場合には、医師、看護師に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・食事やおやつ時の放送、洗濯たみ、園芸等ひとりひとりの役割や楽しみごとに応じた支援を行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・入所者ひとりひとり合わせて、外出できるよう支援している。 (買い物、ドライブ、地域の催し物等) また、家族の協力を得て、面会時等外出している。	職員は天気の良い日には毎日事業所周辺の散歩を支援している。 利用者は近隣のスーパーや馴染みの店へ外出して買い物を楽しんでいる。 年に数回家族等の支援を得ながら、近隣の海岸や寺院の縁日、地域の祭りなどの見物に車いすを使用している利用者も一緒に外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・金銭管理ができる方は、小遣いの範囲内で自己管理している。その他は、個別に支援している。出納は、家族に定期的に書面で報告している。	/	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・本人の希望があった時は、電話をかけたり、手紙のやり取りをしている。	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入所者と職員が共に作成した作品や、七夕飾り、お月見団子、鏡もちづくり等をしている。又、ゆず湯や菖蒲湯の入浴や、梅の実を収穫して梅干しやジュースづくりも行っている。	広縁付きの和室を設けた明るく開放感がある共用空間に観葉植物や季節の花を飾るとともに、利用者が座り易いように肘掛付きの椅子を設置するなど、利用者がゆったりと落ち着いて過ごせるよう配慮している。 廊下に額縁に入れた書道や端切れで描いた絵などの利用者の作品のほか、家族等から寄贈されたパッチワークの作品を飾っており、家庭的な雰囲気づくりをしている。 利用者がいつでも新聞を読めるように新聞をクリップで綴じるなど、職員は利用者や家族等と話し合いながら利用者が居心地よく過ごせるように工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ソファコーナー、畳コーナー、ベランダに休憩コーナーがあり、それぞれ工夫した場所で、入所者がおもいおもいの過ごし方をしている。	/		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・個人、家族の要望を取り入れ、それぞれの装飾品、ラジオなどを持ち込み、落ち着いた生活を送っている。	全居室にトイレと洗面台を備えており、快適に過ごせるような環境づくりをしている。 職員は利用者や家族等と話し合い、ベッドを居室の中央に配置して両側に家具を置くなど、暮らし易いようなレイアウトの工夫をしている。 利用者は使い慣れた小物入れやラジオ、衣装ケース、化粧道具などの身の回り品のほか、趣味の雑誌や家族の写真を居室に持ち込んでおり、自分の生活スタイルに合った居室づくりをしている。	/	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・名前を居室のドアノブへ表示し、認知症により室内の家具等にも表示している。	/		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない